

第660回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 四国横断自動車道建設事業（新直轄） 徳島市津田海岸町

- ・四国横断自動車道は、阿南市を起点に、徳島市、高松市を経て大洲市に至る延長約440kmの高規格幹線道路。
- ・そのうち阿南～徳島東間（17.7km）は、国土開発幹線自動車道建設会議において決定された新直轄方式により整備される区間。
- ・交通が集中する徳島中心部から通過交通を排除し、慢性的な渋滞を緩和すると共に「南海トラフ地震」などによる災害時の代替路としての役割を担うのはもちろん、救助・供給・復旧に役立つライフラインとしてより速く、効率的な緊急輸送が可能となる。
- ・今回、現場研修を実施する津田IC（仮称）～徳島東IC（仮称）（延長2.8km）は、令和2年度の完成予定。



完成イメージ図（徳島河川国道事務所提供）

2. 津田インター線整備事業 徳島市津田海岸町

- ・徳島市東部で建設が進む四国横断自動車道と連結する「津田IC（仮称）（地域活性化IC）」のランプ部を整備するとともに、ICアクセス道路となる既存道路を一部改良するものである。
- ・現場研修を実施するランプ橋は、橋長L=237m、幅員W=8.8m、鋼5径間連続非合成少数I桁橋で、桁架設工事を進めているところ。



3. 津田地域活性化整備事業 徳島市津田海岸町

- ・「津田IC（仮称）」の設置により、「四国の玄関口」としての機能を担う、新たな「陸海空の結節点」が誕生。
- ・同地区のリノベーションを図るための「徳島小松島港津田地区活性化計画」を策定。
- ・同計画に基づき「産業拠点」となる企業用地や「交通結節点」となるIC用地を確保するため第3水面貯木場（約13.8ha）の埋立工事中。
- ・埋立計画高は、L1津波での浸水を防ぐため、周辺の既存地盤高より2m程度高く設定。
- ・津田IC（仮称）供用を見据えたフェーズ1と将来のフェーズ2として段階的に施策を展開。



4. 長安口ダム改造事業 徳島県那賀郡那賀町

- ・那賀川では、過去から台風による洪水が多く発生しており、最近では戦後最大流量を更新した平成26年8月の台風11号や戦後第3位の流量を記録した平成27年7月の台風11号など、毎年のように洪水による氾濫を繰り返しており、早急な治水対策が望まれている。
- ・改造事業では、予備放流水位を下げ、洪水調節容量を増やし、洪水調節能力を増強するため新しく洪水吐きゲート2門を増設。
- ・長安口ダム下流河川の濁水長期化の軽減のため、長安口ダムの発電取水口に選択取水設備を設置し、ダム貯水池内の澄んだ層の水を日野谷発電所の取水口を使って下流へ放流することにより、下流河川の水質改善を図る。



完成イメージ図（那賀川河川事務所提供）